

会告 No.9

2024

◇通知・案内事項

○化学工学会第55回秋季大会 参加募集 本号7ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2024)	(2025)
<ul style="list-style-type: none"> ◇年会 ◇秋季大会 ◇支部大会 ◇学生発表会 	9/11～13(北海道大学)	

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会告ページ
2024年9月 September			
2	第32回東北支部若手の会セミナー(福島県)	8月7日(水)	8号9
2～3	第29回東北ジョイント夏季セミナー(福島県)	8月7日(水)	8号9
4	第48回 基礎化学工学演習講座(実験クール)「攪拌槽内の混合現象の可視化」(愛知県)	8月29日(木)	7号13
4	第29回旬の技術・見学講演会「資源循環型社会の構築を目指したアンモニア合成・利用技術の講演・見学会」(神奈川県)	8月23日(金)	7号12
5～6	「プラント計装制御-2」講座(東京都)	8月28日(水)	4号12
10	第27回反好会(反応工学部会若手会)講演会(北海道)	9月10日(火)	8号8
11～13	化学工学会 第55回秋季大会(北海道)		8号6
11～13	第55回秋季大会講演申込締切のお知らせ(9/11-13)(札幌)	6月15日(土)	6号7
11～13	第55回秋季大会 冠シンポジウム・ランチョン・イブニングセミナー・セッションスポンサー・ニューテックセッション(付設展示会)募集(9/11-13)(札幌)		6号7
13	粉体技術者養成講座 第1回【成形】(岐阜県)		7号11
9～1月下旬	2024年度 粉体技術者養成講座 受講のご案内		7号11
24～26	2024年度 基礎化学工学講習会(9/24-26)(広島県)	8月23日(金)	本号15
25	第5回リスクに基づくプロセス安全入門「現場技術者のためになるプロセス安全の考え方を学ぶ」(オンライン)	9月9日(月)	7号12
27	「バッチ操作を伴うプロセス設計」講座(東京都)	9月19日(木)	4号13
27～28	第50回経営ゼミナール「シン・社会へのリジェネレーションを起こせ!～自らを変え、変革の波を創る～」湘南セッション(9/27-28)(神奈川県)	6月30日(日)	6号10
28	「化学工学技士(基礎)」試験(宮城県, 群馬県, 東京都, 神奈川県, 静岡県, 愛知県, 京都府, 大阪府, 岡山県, 広島県, 山口県, 徳島県, 福岡県, 鹿児島県の前定)	8月30日(金) 13:00	7号8
30	第28回基礎化学工学講習会(9/30・10/1・15・16・21・22)(東京都)		8号10
2024年10月 October			
1～12/4	第29回実践化学工学講座(10/1-12/4)(大阪府)	9月13日(金)	7号14
3～4	粉体技術者養成講座 第2回【乾燥】(10/3-4)(静岡県)		7号11
3～4	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(東京都)	9月25日(水)	4号13
8	入門触媒科学セミナー(10/8-9)(大阪府)	10月9日(水)	8号12
10～18	「プロセス設計」講座 塔・槽, 熱交換器の設計編(10/10, 11, 17, 18)(オンライン)	10月2日(水)	7号9
17～18	粉体技術者養成講座 第3回【粉碎】(10/17-18)(東京都)		7号11
18	セミナー「京都から次世代半導体の潮流を俯瞰する」(京都府)	9月30日(月)	本号14
19	上席化学工学技士 面接試験【三次】(東京都)	6月30日(日)	6号9

24～25	材料化学システム工学討論会(10/24-25)(東京都)	10月18日(金)	本号13
25	第68回プロセス設計技術講演会・見学会兼令和6年度山形化学工学懇話会技術講演会(山形県)	10月13日(日)	本号14
25～26	第50回経営ゼミナール「シン・社会へのリジェネレーションを起こせ!～自らを変え、変革の波を創る～」関西セッション(10/25-26)(兵庫県)	6月30日(日)	6号10
30～31	粉体技術者養成講座 第4回【粒子加工】(10/30-31)(大阪府)		7号11
31～11/1	第58回 化学工学の進歩講習会「CO2削減, クリーンエネルギー, CCUSの研究開発フロンティアカーボンニュートラル実現に向けた産官学の取り組み」(10/31-11/1)(愛知)	7月17日(水)	8号11
1～12/4	第29回実践化学工学講座(大阪府)	9月13日(金)	7号14
2024年11月 November			
5～6	「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計 編(11/5-6)(千葉県)	10月4日(金)	7号9
7～8	ナノ材料の総合分析講習(11/7-8)(大阪府)	10月16日(水)	本号14
7～8	「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座(11/7-8)(東京都)	10月30日(水)	7号10
8	第11回 初歩からの化学工学数学演習講座「データ解析および時系列データ分析の基礎」(11/8-12/6)(オンデマンド)	11月1日(金)	8号11
13～15	「プラント計装制御-1」講座(11/13-15)(東京都)	11月5日(火)	7号11
22～23	第50回経営ゼミナール「シン・社会へのリジェネレーションを起こせ!～自らを変え、変革の波を創る～」幕張セッション(10/25-26)(千葉県)	6月30日(日)	6号10
27～29	「P&IDの作り方」講座(11/27-29)(東京都)	11月19日(火)	7号11
2024年12月 December			
4～5	粉体技術者養成講座 第6回【集じん】(12/4-5)(愛知県)		7号11
2025年6月 June			
30～7/4	14th World Filtration Congress (第14回世界濾過会議)(WFC14)(6/30-7/4)(Bordeaux, France)	10月15日(火)	8号8

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
11月29～30日	International Symposium on Chemical Engineering 2024 (第35回化学工学に関する国際シンポジウム)(ISChE2024)(沖縄県)	7月31日(水)	6号13

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
2024年度化学人材育成プログラム協議会(東京都他)	4月1日～ 2025年3月31日 (月～月)	一般社団法人日本 化学工業協会	03-3297-2578 (03-3297-2606) jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikusei/Prog/index.html
技術英語能力検定(令和六年度)(主催者が設定する全国の試験会場)	4月1日～ 2025年3月31日 (月～月)	一般社団法人日本 能率協会	03-3434-1955 jstc@jma.or.jp https://jstc.jma.or.jp/
2024年度計算力学技術者(CAE技術者)資格認定事業(全国(上級試験は日本機械学会会議室(東京)))	7月23日～12月6日 (火～金)	一般社団法人日本 機械学会	03-4335-7616 caenintei@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/cee/
第46回安全工学セミナー(東京都及びオンライン)	8月27日～ 2025年1月24日 (火～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com https://www.jsse.or.jp/multidatabases/multidatabase_contents/detail/1165/f81c7fc76e69b6e74bf6d30da560a48b?frame_id=991

第18回水素若手研究会(北海道)	9月2～3日(月～火)	水素若手研究会	011-706-6772 hydrogen.wakate@gmail.com https://sites.google.com/view/hydrogen-wakate/
第40回ファジィシステムシンポジウム(FSS2024)(愛知県)	9月2～4日(月～水)	日本知能情報ファジィ学会	0948-24-3355 (0948-24-3356) fss2024_committee@j-soft.org https://soft-cr.org/fss/2024/
第13回環境放射能除染研究発表会(福島県(オンライン併用))	9月4～5日(水～木)	一般社団法人環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会	029-886-9227 (029-886-9228) 13conf@khjosen.org https://khjosen.smoosy.atlas.jp/ja/kenkyu13
2024年度日本冷凍空調学会年次大会(福岡県)	9月4～6日(水～金)	公益社団法人日本冷凍空調学会	03-5623-3223 (03-5623-3229) y.uda.pa@jsrae.or.jp https://jsrae-nenji.org/nenji2024/
2024年度工学教育研究講演会(福岡県)	9月4～6日(水～金)	日本工学教育協会, 九州工学教育協会	03-5442-1021 (03-5442-0241) 2024_jsee_conference@jsee.or.jp https://www.jsee.or.jp/event/conference
日本混相流学会混相流シンポジウム2024(富山県)	9月4～7日(水～土)	日本混相流学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) office@jsmf.gr.jp http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2024/
令和6年度クリーン・コール・デー記念行事(東京都, 他)	9月5日(木)	クリーン・コール・デー実行委員会(事務局:(一財)カーボンフロンティア機構)	03-6402-6101 (03-6402-6110) jkamada@jcoal.or.jp https://www.jcoal.or.jp/ccd/
SPring-8シンポジウム2024(福岡県)	9月5～6日(木～金)	SPring-8ユーザー協同体(SPRUC), 理研, 高輝度光科学研究センター, 九州大学	0791-58-2785 sp8sympo2024@spring8.or.jp http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2024/sp8sympo2024
第188回講演会「基礎から学ぶレオロジー」(東京都)	9月6日(金)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp
資源・素材2024(秋田)－2024年度資源・素材関係学協会合同秋季大会－(秋田県)	9月10～12日(火～木)	一般社団法人資源・素材学会	03-3402-0541 (03-3403-1776) info@mmij.or.jp https://confit.atlas.jp/guide/event/mmij2024b/top?lang=ja
日本マイクログラビティ応用学会 第36回学術講演会(JASMAC-36)(京都)	9月10～12日(火～木)	日本マイクログラビティ応用学会	090-9810-1430 (04-2959-9143) office@jasma.info https://www.jasma.info/jasmac-36/
第34回 マイクロエレクトロニクスシンポジウム(MES2024)(愛知県)	9月11～13日(水～金)	一般社団法人エレクトロニクス実装学会	03-5310-2010 (03-5310-2011) mes2024@jiep.or.jp https://jiep.or.jp/event/mes/mes2024/index.php
No.24-68 講習会「『伝熱工学資料(改訂第5版)』の内容を教材にした熱設計の基礎と応用」(オンライン)	9月12～13日(木～金)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7612 (03-4335-7618) miyata@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/24-68/
第41回センシングフォーラム 計測部門大会(長崎県)	9月12～13日(木～金)	計測自動制御学会	03-3292-0314 (03-3292-3145) bumon@sice.or.jp https://www.sice.or.jp/s_forum/s_forum_sf41.html

第26回日本感性工学会大会(東京都)	9月12～14日 (木～土)	日本感性工学会	03-3666-8000 (03-3666-8000) jske26@jske.org https://www.jske.org/taikai/jske26
2024年度 粉体技術者養成講座(全国)	9月13日(金)	一般社団法人日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) g-yousei@appie.or.jp https://appie.or.jp/
スケジュールリング・シンポジウム2024(福岡県)	9月17～18日 (火～水)	スケジュールリング学会	052-735-7408 ss2024@song-lab.org http://www.scheduling.jp/symposium/2024/
IFPEX2024 第27回油圧・空気圧・水圧国際見本市(東京都)	9月18～20日 (水～金)	日本フルードパワー工業会、産経新聞社	03-3273-6180 (03-3241-4999) info@ifpex.jp https://www.ifpex.jp/2024/
地盤技術フォーラム2024(東京都)	9月18～20日 (水～金)	(株)産業経済新聞社	03-3273-6180 (03-3241-4999) r.nakamura@sankei.co.jp http://www.sgrte.jp/
未来社会を支える温暖化対策技術シンポジウム in 関西(大阪府)	9月19日(木)	公益財団法人 地球環境産業技術研究機構(RITE)	0774-75-2301 (0774-75-2314) kansaisympo@rite.or.jp https://www.rite.or.jp/
日本流体力学会 年会2024(宮城県)	9月25～27日 (水～金)	日本流体力学会	03-3714-0427 (03-3714-0434) jsfm2024-admin@grp.tohoku.ac.jp https://www2.nagare.or.jp/nenkai2024/
(一社)日本高圧力技術協会 オンライン技術セミナー「次世代のエネルギー貯槽技術」(オンライン)	9月26日(木)	(一社)日本高圧力技術協会	03-3516-2270 tanaka@hpij.org https://www.hpij.org/event#frame-43
第24回アコースティック・エミッション総合コンファレンス(佐賀県)	9月26～27日 (木～金)	日本非破壊検査協会	03-5609-4015 (03-5609-4061) yasoshima@jsndi.or.jp https://sciences.jsndi.jp/acoustic/
第60回熱測定討論会(京都府)	9月26～28日 (木～土)	日本熱測定学会	03-6310-6831 (03-6759-3981) netsu@mbd.nifty.com https://www.netsu.org/60touron/index.html
腐食防食部門委員会第356回例会「溶接と腐食の基礎および溶接部の腐食事例」(大阪府)	9月30日(月)	公益社団法人日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp
第95回技術セミナー(東京都)	10月1日(火)	公益社団法人 腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/95.html
第43回電子材料シンポジウム(EMS-43)(奈良県)	10月2～4日 (水～金)	電子材料シンポジウム運営委員会	06-6879-7705 (06-6879-7708) imanishi@cei.eng.osaka-u.ac.jp https://ems.jpn.org/
熱工学コンファレンス2024(山口県)	10月5～6日 (土～日)	一般社団法人 日本機械学会	03-4335-7612 (03-4335-7618) miyata@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/tedconf24/index.html
「食品ハイドロコロイドセミナー2024」[第35回食品ハイドロコロイドシンポジウム](東京都)	10月7～8日 (月～火)	食品ハイドロコロイド研究会	03-5463-0581 sympo@food.hydrocolloids.org https://sites.google.com/view/food-hydrocolloid-org

第10回材料WEEK(京都府)	10月8～10日 (火～木)	公益社団法人日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp http://www.jsms.jp/
第253・254回西山記念技術講座「最新シミュレーション技術の進歩と鉄鋼業への展開」(大阪府)(東京都/オンライン)	10月16～30日 (水～水)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://isij.or.jp/event/event2024/nishiyama253.html
第72回レオロジー討論会(山形県)	10月17～18日 (木～金)	日本レオロジー学会, 日本バイオレオロジー学会	075-315-8687 (075-315-8688) office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
日本コンピュータ化学会2024年秋季年会(北海道)	10月20～21日 (日～月)	日本コンピュータ化学会	0143-46-5673 (0143-46-5673) sccj2024ao@googlegroups.com https://sites.google.com/view/sccj2024autum/
2024年日本表面真空学会学術講演会(福岡県)	10月20～24日 (日～木)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) taikai2024@jvss.jp https://pub.confit.atlas.jp/en/event/jvss2024
The 10th International Symposium on Surface Science (ISSS-10)(福岡県)	10月20～24日 (日～木)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) iss10@jvss.jp https://www.jvss.jp/conference/iss10/
2024年度水素・燃料電池材料研究会講座(東京都)	10月25日(金)	高分子学会水素・燃料電池材料研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) resg3@spsj.or.jp https://member.spsj.or.jp/event/index.php?id=624
第19回高校化学グランドコンテスト(東京都)	10月26～27日 (土～日)	芝浦工業大学	03-5859-7985 090-6046-8361 (03-5859-7121) i049052@ow.shibaura-it.ac.jp https://s-gracon.jp/2023/
第45回日本熱物性シンポジウム(新潟県)	10月28～30日 (月～水)	日本熱物性学会	03-5452-6218 (03-5452-6219) jstp@iis.u-tokyo.ac.jp https://jstp-symp.org/symp2024/index.html
第49回コロージョン・セミナー(愛知県)	10月29～31日 (火～木)	公益社団法人 腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/49.html
第61回石炭科学会議(香川県)	10月30日～11月1日 (水～金)	一般社団法人日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) tsunasawa_jie1921@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/977/
第74回プラスチックフィルム研究会講座(東京都)	10月31日(木)	高分子学会プラスチックフィルム研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) resg3@spsj.or.jp https://member.spsj.or.jp/event/index.php?id=627
連合年会2024(第37回日本イオン交換研究発表会・第43回溶媒抽出討論会)(茨城県)	10月31日～11月1日 (木～金)	日本イオン交換学会・日本溶媒抽出学会	029-228-8704 (029-228-8704) akira.ohashi.sci@vc.ibaraki.ac.jp http://www.jaie.gr.jp/00japanese/index.html#

SCIS & ISIS 2024(兵庫県)	11月9～13日 (土～水)	日本知能情報フ ァ ジイ学会	0948-24-3355 (0948-24-3356) scis.isis2024@soft-cr.org https://soft-cr.org/scis/2024/
14th International Conference of Electroluminescence and Optoelectronic Devices (ICEL2024) (京都府)	11月12～15日 (火～金)	ICEL2024実行委員 会	0774-38-3152 (0774-38-3148) icel2024@moma.kuicr.kyoto-u.ac.jp https://icel2024.kuicr.kyoto-u.ac.jp/
The Second Symposium on Carbon Ultimate Utilization Technologies for the Global Environment (CUUTE-2) (奈良県)	11月12～15日 (火～金)	一般社団法人日本 鉄鋼協会	03-3669-5932 ryo@isij.or.jp https://cuute2.com/
第71回材料と環境討論会(東京都)	11月13～15日 (水～金)	公益社団法人 腐 食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/71.html
第45回ドライプロセス国際シンポジウム (DPS2024) (北海道)	11月14～15日 (木～金)	ドライプロセス国 際シンポジウム組 織委員会	070-5268-6664 dps2024@officepolaris.co.jp http://www.dry-process.org/2024/
酵素工学会第92回講演会(神奈川県)	11月15日(金)	酵素工学会	075-753-6462 (075-753-6462) enzyme.engjsee@gmail.com https://www.jsee92.enzyme-eng.com
15th International Symposium of Atomic Level Characterization for New Materials and Devices '24 (ALC '24) (鳥根県)	11月17～22日 (日～金)	日本表面真空学会 マイクロビームア ナリシ技術部会	03-3812-0266 alc24@jvss.jp https://www.jvss.jp/division/mba/alc/alc24/
第75回白石記念講座「データ駆動型材料開発の最前線とその適用例」(東京都/オンライン)	11月21日(木)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://isij.or.jp/event/event2024/shiraishi75.html
ケミカル マテリアル Japan 2024(東京都)	11月21～22日 (木～金)	株式会社 化学工業 日報社	03-3663-7936 (03-3663-7861) cmj@chemicaldaily.co.jp https://www.chemmate.jp
第15回マイクロ・ナノ工学シンポジウム(宮城県)	11月25～28日 (月～木)	日本機械学会	03-4335-7614 mnm2024@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/mnm2024/
第32回秋季大会成形加工シンポジア'24(沖縄県)	11月27～28日 (水～木)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp/
POWTEX2024 (第25回国際粉体工業展東京) (東京都/オンライン併催(オンライン会期: 2024/11/11～12/26))	11月27～29日 (水～金)	一般社団法人日本 粉体工業技術協会	03-5297-8855 (03-5294-0909) info2024@powtex.com https://www.powtex.com/tokyo/
第51回炭素材料学会年会(福岡県)	11月27～29日 (水～金)	炭素材料学会	03-6824-9365 tanso-desk@conf.bunken.co.jp https://www.tanso.org/contents/event/conf2024/
日本膜学会「膜シンポジウム2024」(滋賀県)	11月28～29日 (木～金)	日本膜学会	03-3815-2818 (03-3815-2818) membrane@mua.biglobe.ne.jp https://www.maku-jp.org/symposium/
第13回潜熱工学シンポジウム(岡山県)	11月28～29日 (木～金)	日本潜熱工学会	086-251-8086 (086-251-8086) knakaso@okayama-u.ac.jp https://www.cc.okayama-u.ac.jp/latent/heat/schedule.html

第44回レオロジー講座 - 様々なソフトマターのレオロジー - (オンライン)	12月3~4日 (火~水)	日本レオロジー学会	075-315-8687 (075-315-8688) online@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
第44回水素エネルギー協会 (HESS) 大会 (ハイブリッド (東京都, オンライン))	12月5~6日 (木~金)	一般社団法人水素エネルギー協会	090-7367-3695 secretary@hess.jp https://hess01.sakura.ne.jp/3_activity/mo/44hess_annai.pdf
第38回数値流体力学シンポジウム (東京都)	12月11~13日 (水~金)	日本流体学会	03-3714-0427 (03-3714-0434) cfd38@nagare.or.jp https://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd38/
第33回微粒化シンポジウム (広島県)	12月17~18日 (火~水)	日本液体微粒化学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) information_atmz@ilass-japan.gr.jp https://www.ilass-japan.gr.jp
第37回自律分散システム・シンポジウム (山口県)	2025年1月 15~16日 (水~木)	計測自動制御学会システム・情報部門自律分散システム部会	083-933-5691 das37th@gmail.com https://sites.google.com/sice-das.org/das37th
第41回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス (東京都)	2025年1月 28~29日 (火~水)	一般社団法人エネルギー・資源学会	06-6446-0537 (06-6446-0559) gyoji@jser.gr.jp https://www.jser.gr.jp/
ISPlasma2025/IC-PLANTS2025 (愛知県)	2025年3月 3~7日 (月~金)	公益社団法人 応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2025@intergroup.co.jp https://www.isplasma.jp/ (近日公開)
第4回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議 (英名) The 4th International Conference on Computational Engineering and Science for Safety and Environmental Problems (COMPSAFE2025) (兵庫県)	2025年7月 1~4日 (火~金)	日本計算工学会 (JSCES), 日本計算力学連合 (JACM)	078-940-5541 compsafe2025@compsafe2025.org https://www.compsafe2025.org/
第8回材料界面の評価と制御に関する国際会議 The 8th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2025) (山梨県)	2025年7月 8~11日 (火~金)	粉体工学会	045-339-3959 045-339-3957 iccci2025@ynu.ac.jp https://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2025/

化学工学会第55回秋季大会 概要

- 会 場：北海道大学 札幌キャンパス (〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目)
※一部のセッションのみオンライン参加(発表・聴講)を可能とする予定です。
- 会 期：2024年9月11日(水)~9月13日(金)
(特別シンポジウムSP-1は会期前日9月10日(火)実施)
- 懇親会会場：北海道大学 札幌キャンパス内 北部食堂
懇親会日時：2024年9月12日(木) 18:00~20:00
参加登録期間：第三期(含む当日) 2024年8月8日(木)~9月13日(木) 12:00
大会WebサイトURL：<https://www4.scej.org/meeting/55f/>
※参加登録は上記webサイトからのみ受け付けます。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)
※本記事記載の各事項は変更される可能性があります。最新情報は大会webサイトにてご確認ください。

化学工学会第55回秋季大会は、2024年9月11日(水)~13日(金)の3日間、北海道大学札幌キャンパスにおいて開催されます。懇親会も開催を予定しています。

参加登録を9月13日(金)12:00まで大会webサイトにて受け付けますので、奮ってご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

オンライン参加予定の方へ

オンライン参加可能セッション(ライブ配信併用セッション)を大会webサイトで公開しておりますので、必ず目的のセッションがオンライン参加可能であることをお確かめください。

会場へのアクセス

札幌市営地下鉄南北線北12条駅から西へ徒歩約10分です。JR札幌駅からは西改札口を出て右手(北口)から北西へ徒歩約20分です。詳細については大会webサイトをご覧ください。

懇親会

日時 9月12日(木)18:00~20:00
 場所 北海道大学 札幌キャンパス内 北部食堂
 予約終了。当日受付なし。

式典(現地のみ)

日時 9月12日(木)16:30~17:30
 会場 A会場(B1棟2階 オープンホール)
 会長挨拶、優秀論文賞表彰式を行います。ライブ配信は実施しませんのでご注意ください。
 (オーガナイザー敬称略)

化学工学ビジョンシンポジウム

第十四回
 化学工学における
 サークュラーエコノミーへの挑戦
 (ライブ配信併用)

日時 9月13日(金)9:00~11:40
 会場 B会場(B3棟1階 B31)
 主催 戦略企画会議
 オーガナイザー 所 千晴(早稲田大学), 松方正彦(早稲田大学), 西山憲和(大阪大学), 杉山弘和(東京大学), 井上 元(九州大学)

サーキュラーエコノミーはカーボンニュートラルに並び、経済・社会・環境の調和のとれた持続可能な発展に対する重要な概念となっています。しかしモノづくりに強みを持つ日本におけるサーキュラーエコノミーの方向性はまだ模索段階にあります。本セッションでは化学工学におけるサーキュラーエコノミー実践への取り組みへの期待と種々の事例を紹介しながら、日本にとって強みのあるサーキュラーエコノミーの方向性を議論します。

- B301(9:00~9:40)
 [招待講演] 素材産業の国際競争力強化とGXの実現に向けた政策動向
 (経済産業省)横山康之氏
- B303(9:40~10:00)
 [招待講演] サークュラーエコノミービジネスの国際展開と日本での方向性
 (Veolia Japan GK)宮川英樹氏
- B304(10:00~10:20)
 [招待講演] 題目未定
 ((株)IHI)鈴木啓立氏
- B305(10:20~10:40)
 [招待講演] 三菱電機グループのサーキュラーエコノミーに向けた取り組み
 (三菱電機(株))田中博文氏
- B306(10:40~11:00)
 [招待講演] サークュラーエコノミーに向けた取り組み事例について
 (三井化学(株))羽佐田恭弘氏
- 11:00~11:40
 パネルディスカッション
 各登壇者・コーディネーター

特別シンポジウム

最新の注目テーマを、各界最前線でご活躍されている方からご説明いただき、議論します。

SP-1 2050年 カーボンニュートラルへの道
 (一般公開企画・ライブ配信併用)

日時 9月10日(火)[会期前日]13:00~17:00
 会場 B会場(B3棟1階 B31)
 主催 地域連携カーボンニュートラル推進委員会, 戦略推進センター CCUS検討委員会
 共催 戦略推進センター SDGs検討委員会, 触媒学会
 後援 経済産業省, 環境省, 林野庁, 日本工学会アカデミー, 日本工学会, 日本化学連合(株)IHI, 東洋エンジニアリング(株), (株)トクヤマ, 東ソー(株), 日本ゼオン(株), 出光興産(株), 住友化学(株), 三井化学(株), 丸善石油化学(株), アサヒケオリアンドイノベーションズ(株), (株)カネカ, 三井住友信託銀行(株)
 オーガナイザー 今井博文(出光興産(株)), 菊地隆司(北海道大学), 久保田伸彦((株)IHI), 古山通久(信州大学), 辻 佳子(東京大学), 中垣隆雄(早稲田大学)

カーボンニュートラルの達成のためには、どんな社会にすべきかを検討・設計し、必要なプロセスを想定し、適切な要素技術を求めていく必要があります。化学工学会では地域産業および地域コミュニティとの連携強化により具体的なケーススタディ、カーボンニュートラルに必要な技術や学問体系の展開・深化の検討を進めております。

2020年3月以降、年会、秋季大会ごとに開催しております本シンポジウムですが、今回も、エネルギー・環境イノベーションとその社会実装について、会期前日の9月10日(火)午後、招待講演、依頼講演、パネルディスカッションを実施いたします。今回は、カーボンニュートラル推進における日本の位置づけを念頭において、地域の特徴に鑑みたグランドデザインの考え方、また、北海道での取り組みについて議論していきたいと思っております。

なお、参加費無料の一般公開シンポジウムとなりますので、化学工学が挑む未来社会について多くのみなさまとともに語り、この活動を通じて学会全体の分野融合研究の推進と学術の発展に貢献することを期待しています。

- B013(13:00~13:30)
 循環型産業への転換によるカーボン・インデペンデンスの実現
 (東京大学)辻 佳子氏
- B014(13:30~14:00)
 [招待講演] 題目未定
 (経済産業省)西田光宏氏
- B016(14:00~14:30)
 [依頼講演] カーボンニュートラル社会実現に向けた北海道のポテンシャルと取り組み
 (北海道大学)菊地隆司氏
- B018(14:50~15:20)
 [招待講演] 北海道をフィールドとしたロボティクスによる社会貢献の取り組み
 (北海道大学)江丸貴紀氏
- B019(15:20~15:50)
 [招待講演] 題目未定
 (酪農学園大学)石川志保氏
- 15:50~16:55
 パネル討論
- 16:55~17:00
 閉会挨拶

SP-2 ナノ材料の界面・構造制御プロセスサイエンス
 (ライブ配信併用)

日時 9月11日(水)9:45~16:50
 会場 B会場(B3棟1階 B31)
 オーガナイザー 横 哲(東北大学), 菅居高明(東北大学), 長尾大輔(東北大学)

「ナノ材料の界面・構造制御プロセスサイエンス」プロジェクトでは、ナノ粒子を擬似分子として取り扱いナノ粒子の化学工学熱力学を構築し、ナノ粒子を取り扱うプロセスの単位操作の確立を行い、ナノ粒子の構造形成も取り扱うことを目指した取り組みを行ってきました。本シンポジウムではその成果を発表し、ナノ材料の化学工学の構築に向けた議論を行います。

9:45~10:00
 オーガナイザー イントロダクション
 B104(10:00~10:40)
 [招待講演] 様々な系におけるナノ構造形成とプロセス-構造相関
 (早稲田大学)野田 優氏

B106(10:40~11:20)
 [招待講演] アルミノシリケートナノ粒子の合成プロセス設計へ向けた検討
 (東京大学)伊與木健太氏

B108(11:20~12:00)
 [招待講演] 気相中での微粒子のナノ構造化と機能
 (広島大学)荻 崇氏

B114(13:20~14:00)
 [招待講演] 相互作用測定に立脚したコロイド自己集積現象の機構解明
 (京都大学)渡邊 哲氏

B116(14:00~14:40)
 [招待講演] ナノフルイドの濡れと構造形成の計測・制御
 (東北大学)庄司衛太氏

B119(15:00~15:40)
 [招待講演] 有機修飾無機ナノ粒子の基礎物性からわかる擬似分子としての振る舞い
 (東北大学)大田昌樹氏・楊 乃樹氏・秋和佑汰氏

B121(15:40~16:20)
 [招待講演] スーパーコンピュータMASAMUNE-IMRを活用した有機修飾ナノ粒子の凝集・分散メカニズム解明への計算科学シミュレーション
 (東北大学)久保百司氏

B123(16:20~16:40)
 [招待講演] 次世代ファイナセラミックス製造プロセスの開発基盤構築を目指して
 (産業技術総合研究所)陶 究氏

16:40~16:50
 オーガナイザー 挨拶

SP-3 化学工学分野における
 スタートアップの可能性
 (ライブ配信併用)

日時 9月12日(木)9:40~15:30
 会場 B会場(B3棟1階 B31)
 オーガナイザー 西山憲和(大阪大学), 所 千晴(早稲田大学), 後藤雅宏(九州大学), 北川尚美(東北大学), 松田圭悟(名古屋大学), 古山通久(信州大学), 岡 弘樹(東北大学)

持続的な経済成長の推進役として、スタートアップにかかる期待は大きい。政府は2022年を「スタートアップ創出元年」と位置付け、イノベーションの鍵となるスタートアップを5年で10倍に増やすことをめざし、5か年計画をまとめました。

このような中、IT技術を活用するテック系スタートアップだけでなく、社会の根深い課題を先進的な技術で解決するディープテックスタートアップに対する期待が高まっています。テック系のスタートアップは数か月の開発サイクルで数年での上市、5年程度でのIPOやM&Aでのエグジットを目指します。これに対してディープテックスタートアップは、製品上市まで長期間が必要となり、開発に必要な資本も一桁以上大きく、研究開発人材と経営人材のミスマッチ、研究開発人材と出資者とのディスコミュニケーション、など様々な課題に直面します。

本シンポジウムでは、スタートアップを取り巻く人財の課題、事業会社のオープンイノベーションへの取り組み、アカデミア発スタートアップの起業の課題、アカデミア発スタートアップの成長への挑戦などについて講演を頂戴する予定です。ディープテックのシーズをもつアカデミアの人材の集まる場である化学工学会の立場から、スタートアップを創出し、社会を変えていく可能性について議論します。

9:40~10:00

企画趣旨、経緯とディープテックスタートアップをとりまく環境

(信州大学)古山通久氏

B204(10:00~10:30)

[招待講演] ディープテック・スタートアップ、ディープテック・イノベーション：日本のチャンスとは？

(GEN Japan)西口尚宏氏

B206(10:40~11:10)

[招待講演] (仮)21世紀のスタートアップの開拓

(北海道大学)土屋 努氏

B207(11:10~11:40)

[招待講演] 大学発スタートアップのディープハンズオン支援

(インタンジブルズ(株))矢野勝治氏

B213(13:00~13:30)

[招待講演] 上場意義と現在のIPO環境

(吉積ホールディングス(株))園田勝臣氏

B214(13:30~13:50)

[招待講演] ディープテックスタートアップが気を付けるべき三つの罠

(大熊ダイヤモンドデバイス(株))星川尚久氏

B215(13:50~14:10)

[招待講演] 蓄熱技術におけるスタートアップの可能性

(北海道大学)能村貴宏氏

B216(14:10~14:30)

株式会社気象データシステムの設立と発展：建築用気象データベースを商品とする大学発ベンチャー

(元(株)気象データシステム)上村芳三氏・

((株)気象データシステム)赤坂 裕氏

14:30~15:30

討論およびネットワーキング

本部企画

HQ-11 冷熱利用大気中二酸化炭素直接回収プロセス開発における産学連携(ライブ配信併用)

日時 9月11日(水)9:20~11:50

会場 C会場(B3棟1階B32)

オーガナイザー 則永行庸(名古屋大学), 町田洋(名古屋大学), 増田宗一郎(東邦ガス(株)), 藤本高義(日揮(株)), 甘蔗寂樹(東京大学), 田中優実(東京理科大学)

セッションスポンサー シムアーツ(株), 東邦ガス(株), 日揮(株)

我が国が年間7500万トン輸入している液化天然ガスの冷熱を利用する新しい大気中二酸化炭素回収プロセス開発の状況を、開発のプレイヤーである大学や、都市ガス供給およびプラント建設に関わる企業の研究者から報告します。今後の展開に向けた課題や展望について皆様で議論する場にしたいと考えています。

C102(9:20~9:50)

[展望講演] 冷熱を活用するDAC“Cryo-DAC®(クライオダック)”の研究開発の状況と展望

(名古屋大学)則永行庸氏

C103(9:50~10:10)

[招待講演] 冷熱衝撃環境におけるステンレス鋼の耐久性

(東京理科大学)田中優実氏・許 禎佑氏・森田泰彦氏・岩崎 秀氏

C105(10:20~10:40)

[招待講演] エクセルギーに基づいたCryo-DACの解析

(東京大学)甘蔗寂樹氏・酒井裕香氏

C106(10:40~11:00)

[招待講演] プロセスシミュレーションを活用したCryo-DAC®プロセスのエネルギー・コスト評価

(東邦ガス(株))中山勇輝氏・小高美佐子氏・増田宗一郎氏・田中洋一氏・藪下雅崇氏

C108(11:10~11:30)

[招待講演] Cryo-DAC向け吸収液の開発動向

(名古屋大学)町田 洋氏

C109(11:30~11:50)

[招待講演] Cryo-DAC向けベンチプラントの設計と建設状況の紹介

(日揮(株))田中浩二氏・藤本高義氏・藤井孝義氏・関下絢介氏

HQ-12 女性技術者ネットワーク(一般公開企画・ライブ配信併用)

日時 9月12日(木)12:10~13:00

会場 C会場(B3棟1階B32)

主催 男女共同参画委員会

オーガナイザー 宮崎あかね(日本女子大学), 吉宗美紀(産業技術総合研究所), 今村維克(岡山大学), 三谷 誠(化学工学会)

化学工学というコミュニティにおいて、女性はまだまだ少数派です。女性技術者が働きやすい環境は、老若男女が共に生きる社会につながります。昼休みの時間、ランチをとりながら女性技術者ネットワーク形成の成功事例を共有し、働きやすさについて一緒に考えましょう。化学工学会に集うすべての人を歓迎します。

C211(12:10~12:35)

[依頼講演] 光機能性材料の開発とあたらしい働き方の探索

(室蘭工業大学)高瀬 舞氏

C212(12:35~13:00)

[依頼講演] 化学工学会における男女共同参画の現状と課題

(産業技術総合研究所)吉宗美紀氏

HQ-13 CCUS検討委員会シンポジウム(ライブ配信併用)

日時 9月13日(金)8:35~17:00

会場 C会場(B3棟1階B32)

主催 戦略推進センター・CCUS検討委員会, 地域連携カーボンニュートラル推進委員会, 基礎物性部会, 分離プロセス部会, システム・情報・シミュレーション部会,

環境部会

オーガナイザー 町田 洋(名古屋大学), 山田秀尚(金沢大学), 高橋伸英(信州大学)
セッションスポンサー 東ソー(株), (株)堀場製作所

8:35~8:40

挨拶

C301(8:40~9:20)

[招待講演] Evaluation of CO₂ Capture and Utilization (CCU) Technologies through Rigorous Process Simulation

(國立臺灣大學)Yu Bor-Yih氏

C302(9:20~9:40)

非常常プロセスシミュレーション利用による固体材料を用いたCO₂回収プロセスの排出削減の定量評価

(東北大学)宗 楽人氏・八木原昂輝氏・大野 肇氏・福島康裕氏

C303(9:40~10:00)

ゼオライト充填内部加熱冷却型TSAによる模擬排ガスからのCO₂回収

(金沢大学)Vannak Heak氏・大坂侑吾氏・辻口拓也氏・藤原 翔氏・汲田幹夫氏・児玉昭雄氏・

(三菱ケミカル(株))大西良治氏・引開 脩氏

C304(10:00~10:20)

柔軟性MOF‘ELM-11’のCO₂吸脱着速度解析

(名古屋大学)藤本淳平氏・(日本製鉄(株))上代 洋氏・

(名古屋大学)矢野智之氏・川尻喜章氏

C305(10:20~10:40)

CO₂回収における高速温度スイング吸着プロセスのための吸着モジュール開発

(名古屋大学)小刀稱大高氏・Frantisek Mikisik氏・藤本淳平氏・矢野智之氏・(日本製鉄(株))上代 洋氏・(名古屋大学)川尻喜章氏

C306(10:40~11:00)

ゼオライトを用いた大気中からのCO₂直接除去(第1報)：ゼオライトの高機能化とプロジェクト紹介

(東京大学)伊與木健太氏・(北海道大学)北垣亮馬氏・(東京大学)兼松祐一郎氏

C307(11:00~11:20)

Quantum Chemistry Derived Microkinetic Modeling of CO₂-Amine Reactions: Understanding the Effect of Solvents on Product Distribution

(中央大学)Patil Amol Baliram氏・Mori Hirotooshi氏

C308(11:20~11:40)

有機廃液のケミカルループ燃焼によるCO₂分離回収の検討

(神奈川工科大学)野間口隆雄氏・大庭武泰氏・(東京応化工業(株))北村 涼氏・熊澤博嗣氏

C309(11:40~12:00)

CO₂誘起相転移を示すアミン水溶液を駆動媒体とする閉鎖型浸透圧発電に関する基礎的検討

(日本大学)夏堀龍聖氏・高橋智輝氏・保科貴亮氏

C313(13:00~13:40)

[招待講演] NEDOのカーボンリサイクル実証研究拠点とCCUS分野の取組の紹介

(新エネルギー・産業技術総合開発機構)吉田唯一氏

C315(13:40~14:20)

[招待講演] 海水を用いた有価物併産カーボンリサイクル技術実証と応用製品の研究開発

(早稲田大学)中垣隆雄氏

C317(14:20~14:40)

アミン認識ホスト分子によるイオン交換反応でアミン吸収液の非加熱再生とCO₂固体化は可能か

(宮崎大学)大島達也氏・河野晃大氏・大菜 薫氏・稲田飛鳥氏
C318(14:40~15:00)
CO₂吸収型コンクリートの炭酸化速度の転化率依存性と速度解析

(早稲田大学)並木克也氏・(デンカ(株))亀田博之氏・原 啓史氏・(早稲田大学)野田 優氏
C319(15:00~15:20)
廃材を活用した二酸化炭素の吸収と無機固定化の検討

(富山県立大学)前坂和輝氏・村井哉太氏・小裕弘斗氏・宮本泰行氏・(横浜国立大学)室町実大氏・(日本大学)松田弘幸氏・小嶋芳行氏・(応用物性研究所)大場茂夫氏
C320(15:20~15:40)
廃棄物を用いた炭酸塩固定化

(成蹊大学)吉田龍矢氏・野口美由貴氏・山崎章弘氏
C321(15:40~16:00)
カーボンリサイクル製品に応じた廃かん水由来MgOのCO₂鉱物化操作条件

(早稲田大学)大石彰英氏・((株)サクラ)有本光希氏・島田統行氏・(早稲田大学)中垣隆雄氏
C322(16:00~16:20)
液相への大気CO₂回収(第2報)気液接触場を形成するスポンジへの孔開けによる気液界面増

(株)豊田中央研究所)水谷陽介氏・野尻紗也香氏・(トヨタ自動車(株))岡村和政氏
C323(16:20~16:40)
Ni/CeO₂系触媒の調製法によるCO₂を原料としたメタネーション反応に与える影響の評価

(株)IH)江部郁仁氏・鎌田博之氏・成相健太郎氏・高橋克己氏

HQ-14 SDGs達成に向けた札幌宣言の実行ーEfficiencyとSufficiencyの同時達成のための新しい研究ー(ライブ配信併用)

日時 9月13日(金)13:00~17:00
会場 D会場(B2棟2階 アカデミックラウンジ1)
主催 戦略推進センター・SDGs検討委員会
オーガナイザー 藤岡沙都子(慶應大学)・野田 優(早稲田大学)・花田汐理(三井化学(株))

化学工学会は、2019年9月APCChE2019において「国連持続可能な開発目標(SDGs)に関する宣言ー人々の「健康、安心、幸福」のための化学工学ー」と題する札幌宣言を発表しました。SDGsを共有ビジョンとし、化学工学者が、化学工学と関連する技術の進歩を通して、人々のウェルビーイングの推進へ貢献することを第一の目的としています。この札幌宣言の実現に向けて、これまでの秋季大会や年会において「多様な分野の協働で実現するサーキュラーエコノミー」「安全な水への化学工学の貢献」「多様な人材が活躍する未来の化学工場」「ありたい未来社会のための化学工学」といった宣言に含まれる内容に関連したテーマでシンポジウムを開催し、全員参加型のグループ討議も行い、学会内外の方々と議論を深めてきました。今回のシンポジウムでは、効率性と充足性をともに確保した研究開発のあり方を産官学連携で議論すべく、専門家からのご講演と、産学連携での共同ワークにもとづくプロジェクト提案ならびに聴衆も含めた全員参加型のグループ討議を行い、札幌宣言の達成に向けた取り組みを実際に加速させることを目的とします。

13:00~13:10
趣旨説明

(慶應義塾大学)藤岡沙都子氏
D314(13:10~13:40)
[招待講演]人々の「健康、安心、幸福」のためにー化学工学とSDGsー

(住友化学(株))福田加奈子氏
D315(13:40~14:10)
[招待講演]持続可能な社会・経済・環境に向けたイノベーションへの期待と現状

(文部科学省)迫田健吉氏
14:10~14:20
キャップストーンプロジェクトの説明

(三井化学(株))花田汐理氏
14:20~14:50
キャップストーンプロジェクト参加者による概要紹介

14:50~15:50
参加型グループ討議
15:50~16:50
グループ討議結果の発表

16:50~17:00
まとめ
(住友化学(株))木村雅晴氏

HQ-15 若手研究者が考える未来の化学工学研究(現地のみ・ポスター)

日時 9月13日(金)13:30~16:30
会場 Z会場(北部食堂)
主催 全国若手の会
オーガナイザー 吉川琢也(帯広畜産大学)、宮川雅矢(工学院大学)、永石新太郎(北海道大学)

全国で活躍する様々な分野の若手の研究者・技術者にお集まりいただき、ポスター形式でリラックスした雰囲気の中で研究・技術紹介と意見交換を行います。最新の研究や現場での応用など幅広い話題を提供し、未来の化学工学研究を、次世代を担う若手が活力にあふれた発想に基づいて発信していきます。さらには、研究者・技術者同士のコネクションづくりにも役立つ場を提供します。

Z301(13:30~16:30)
[依頼講演]食品加工残渣を原料とするバイオマスナノファイバーとプラスチックの複合化
(北海道立総合研究機構工業試験場) 瀬野修一郎氏・(帯広畜産大学)吉川琢也氏・(北海道大学)小野田晃氏

Z302(13:30~16:30)
[依頼講演]食品用酵素の活用事例
(三菱ケミカル(株))長谷川実穂氏

Z303(13:30~16:30)
[依頼講演]様々な環境でのバイオプラおよびオキソプラの生分解性評価
(北海道大学)ハム グンヨン氏・(国立環境研究所)石垣智基氏・(北海道大学)落合 知氏・石井一英氏・(国立環境研究所)山田正人氏

Z304(13:30~16:30)
[依頼講演]プラズマ技術を用いた空気その場改質と応用
(東北大学)佐々木渉太氏・高島圭介氏・金子俊郎氏

Z305(13:30~16:30)
[依頼講演]超高温熱分析法による炭素・酸化物中ヘテロ元素種の定性・定量
(東北大学)吉井文晴氏

Z306(13:30~16:30)
[依頼講演]スラリ中粒子の分散・凝集制御とものづくりへの応用
(法政大学)北村研太氏

Z307(13:30~16:30)

[依頼講演]DXを活用した化合物合成ルートの効率的な設計

(シオノギファーマ(株))馬島翔平氏・(産業技術総合研究所)矢田 陽氏・(三井化学(株))渡久平俊樹氏・正村太一氏・((株)Transition State Technology)堀 憲次氏
Z308(13:30~16:30)
[依頼講演]CO₂ hydrogenation for methanol synthesis in a dielectric barrier discharge plasma reactor

(岐阜大学)Masumbuko Robert氏
Z309(13:30~16:30)
[依頼講演]Computational materials design of ternary alloys by Korringa-Kohn-Rostoker coherent potential approximation method and machine learning

(日本ゼオン(株))Pham Thi Dung氏・世木 隆氏・小野裕己氏
Z310(13:30~16:30)
[依頼講演]ゼオライトが示すゲート型CO₂吸着機構とPSAへの応用

(関西大学)樋口雄斗氏・田中俊輔氏
Z311(13:30~16:30)
[依頼講演]『シーケンス制御×ダイナミック仮想環境』によるプラントスタートアップ自動化

(住友化学(株))山西裕基氏
Z312(13:30~16:30)
[依頼講演]多孔質高分子粒子を用いた微細エマルション形成技術の開発

(山口大学)吉高京華氏・通阪栄一氏
Z313(13:30~16:30)
[依頼講演]金属イオンによる短鎖ペプチドの超分子化メカニズムの解明

(宮崎大学)稲田飛鳥氏
Z314(13:30~16:30)
[依頼講演]アミン含有ゲルを用いた燃焼後排ガス由来CO₂の回収プロセス検討

(九州大学)日種隆敏氏・((株)JCCL)本田竜太郎氏・(九州大学)星野 友氏

部会横断型シンポジウム(全て現地のみ)

ST-21 プラネタリーバウンダリー問題解決に向けたプロセス・システムの解析・設計

日時 9月11日(水)9:00~17:00
会場 T会場(情報棟2階A23)
主催 システム・情報・シミュレーション部会、基礎物性部会、分離プロセス部会、反応工学部会、環境部会

二酸化炭素、窒素化合物、リンなどの環境への排出量増加に係るプラネタリーバウンダリー問題の解決に向けたプロセス・システムの研究開発において、モデルベースの開発・設計戦略の発展と適用が求められています。本シンポジウムでは、温室効果ガスならびに環境汚染物質の排出量削減を目指したプロセス・材料の開発・設計における最近の実験的解析ならびにシミュレーション適用に関する研究発表を広く募集し、開発プロセス・材料の社会実装の推進に向けた討論をシステム論的な見地から行います。

ST-22 データ駆動型研究開発の最先端

日時 9月12日(木)13:00~16:00、9月13日(金)9:00~15:00
会場 E会場(B1棟1階B11)
主催 反応工学部会、システム・情報・シミュレーション部会、バイオ部会、エネルギー部会

データ科学は実験科学、理論科学、計算科学に続く第4の科学として近年急速に発展しています。化学工学の分野においても、蓄積された多くのデータや情報を駆使して優れた材料やプロセスを導き出すデータ駆動型科学の重要性はますます高まっており、多くの取り組みが行われています。本シンポジウムでは、多様な観点からデータ駆動型社会に向けて先駆的な取り組みをしている講演者に講演いただき、これからの研究開発について議論します。

ST-23 物質・エネルギーの革新的「変換・貯蔵・利用」技術と化学工学の貢献

日時 9月11日(水)8:40~17:40, 9月12日(木)9:00~12:00, 9月13日(金)9:00~17:00
会場 S会場(情報棟2階A22)
主催 エネルギー部会, 反応工学部会, システム・情報・シミュレーション部会, 材料・界面部会

本シンポジウムでは、電気化学反応を中心に各種エネルギー変換・貯蔵・利用技術(電解合成, 電解析出, 電気分解, 燃料電池, 二次電池, 太陽電池, フロー電池等)に関する講演をナノスケール材料からシステムまで広く募集します。特に社会実装を考えた場合に、導入環境や地域性に対して、あるべきデバイス・システムは何か? など、化学工学分野としての貢献とともに全体で議論するシンポジウムを予定しております。

ST-24 炭素中立な社会を目指すバイオマスの熱化学・生物化学的変換の最先端

日時 9月12日(木)14:20~16:00, 9月13日(金)8:40~17:00
会場 I会場(C棟3階C309)
主催 エネルギー部会, バイオ部会, 環境部会

炭素中立な社会における炭素源としても、再生可能エネルギー源としてもバイオマスのエネルギー利用、マテリアル利用が注目を集めています。その利用には、熱化学・生物化学に基づいた化学工学的アプローチが求められています。本シンポジウムでは、技術の垣根を越えてバイオマスの有効利用技術に関する議論を行います。

ST-25 CVD/ALD・ドライプロセスー構造・機能制御の反応工学ー

日時 9月11日(水)13:00~17:00, 9月12日(木)10:40~14:40
会場 J会場(C棟3階C310)
主催 反応工学部会, 超臨界流体部会
共催 CVD研究会, Cat-CVD研究会

CVDやALDなどのドライプロセスはエレクトロニクス、エネルギーデバイス、機能性コーティングなど様々な分野で重要な基幹技術となっています。特に近年は産業のコメとも呼ばれる半導体産業の重要性が再認識され、メカニズムの理解に立脚したプロセスの構築と制御が増々求められています。本シンポジウムでは、ドライプロセスを利用した薄膜形成、微粒子合成、微細加工の反応メカニズムを反応工学的見地より理解し、合理的で効率的な反応プロセスや反応装置を議論します。

ST-26 システム医薬のマルチスケール展開

日時 9月11日(水)13:00~16:20
会場 V会場(情報棟3階A31)
主催 システム・情報・シミュレーション部会, バイオ部会

社会医療費のような長期的課題、治療薬の開発や安定供給のような短期的課題、再生医療・個別化医療のような先進技術課題。これらの解決に向けて、医薬のあるべき姿を見つめなおし、再定義するための方法論が求められています。本シンポジウムでは、細胞からプロセス、社会レベルの最新研究に触れつつ、医薬を対象とするシステムのアプローチの役割について考えます。特に今回は、時間・空間スケールを超えたシステムの連動性について議論を深めます。

ST-27 反応と分離の協奏

日時 9月12日(木)9:00~11:40
会場 G会場(C棟2階C213)
主催 反応工学部会, 分離プロセス部会

反応と分離を組み合わせたプロセスは、化学平衡の制約の回避、反応収率の向上、省資源化、コンパクト化、省エネルギー化を達成可能な重要なプロセス強化技術の一つとして期待されています。本シンポジウムの講演は依頼講演と一般講演で構成し、反応と分離を組み合わせるからこそ得られる協奏効果について最新の研究開発事例を発表頂きます。分野横断的な議論を通じ、反応と膜分離、蒸留や相分離との組み合わせた反応分離プロセスの最新の研究例を通じ、今後の指針や展望について幅広く討論を行うことを目的とします。

ST-28 プラズマプロセッシングの新展開

日時 9月12日(木)9:00~16:00
会場 T会場(情報棟2階A23)
主催 熱工学部会, エネルギー部会

プラズマプロセッシングは新規材料合成や環境問題解決のための先端基盤技術として注目されており、プラズマによるナノ粒子合成、機能性薄膜の作製、表面処理、有害物質処理に加え、水素製造を含めたエネルギー分野などの幅広い分野に応用されています。本シンポジウムでは、プラズマプロセッシングの基礎と応用に関する討論をもとに、化学工学における新たな展開を探ります。

ST-29 分離プロセス産業セッション2024

日時 9月13日(金)13:00~17:00
会場 J会場(C棟3階C310)
主催 分離プロセス部会, 反応工学部会

部会シンポジウム (SY-85のみライブ配信併用, 他は現地のみ)

■基礎物性部会
SY-51 基礎物性部会シンポジウム
■粒子・流体プロセス部会
SY-52 熱物質流体工学の最前線2024

SY-53 気泡・液滴・微粒子分散工学2024
SY-54 粉体プロセスの進展2024
SY-55 ミキシング技術の最前線2024
■熱工学部会
SY-56 熱工学部会シンポジウム
■分離プロセス部会
SY-57 (1)ポスターセッション
SY-58 (2)固液分離プロセスの現状と展望
SY-59 (3)吸着・イオン交換・抽出の最新動向
SY-60 (4)膜工学と膜科学の接点 ~膜開発から膜プロセス開発まで~
SY-61 (5)蒸留プロセス・トラブルシューティング(Distillation Troubleshooting)
SY-62 (6)若手の会 ポスターセッション
■反応工学部会
SY-63 資源・エネルギー・環境分野における反応工学の新展開(フラッシュ発表ありポスター)
SY-64 資源・エネルギー・環境分野における反応工学の新展開
SY-65 連続生産を見据えたマイクロ化学プロセス技術(学生賞あり)
■システム・情報・シミュレーション部会
SY-66 プロセスシステム工学の最近の進歩
SY-67 第23回プロセスデザイン学生コンテスト
■バイオ部会
SY-68 生物化学工学の新潮流2024(フラッシュ発表ありポスター)
SY-69 次世代バイオ分離プロセス:抗体医薬から遺伝子・細胞治療用ベクターまで
SY-70 食品化学工学の新展開 ~学際連携と食品科学技術の深化~
SY-71 未来の医療・創薬に向けた次世代細胞・組織培養の関連技術
SY-72 情報技術を活用した化学工学分野における生物研究
■超臨界流体部会
SY-73 超臨界流体利用技術の最新動向
■エネルギー部会
SY-74 熱利用シンポジウム
SY-75 電気化学による物質・エネルギーの「変換・貯蔵・利用」(ポスター)
■安全部会
SY-76 スマートファクトリーと安全
■エレクトロニクス部会
SY-77 エレクトロニクス材料とプロセス技術
■材料・界面部会
SY-78 材料・界面討論会~革新的な材料創製と界面研究の最先端~(口頭発表部門)
SY-79 材料・界面討論会~革新的な材料創製と界面研究の最先端~(ポスター発表部門)
SY-80 最近の工業品析関連技術
SY-81 ソフトマターと機能性微粒子が創る工学
■環境部会
SY-82 環境部会シンポジウム
SY-83 環境分野における国際エンジニアの役割
SY-84 微生物を用いた炭素循環による有用脂質の生産と食料生産への応用
■化学装置材料部会
SY-85 化学装置材料部会シンポジウム

参加登録方法

大会webサイトからお申込みください。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)
第三期(含む当日) 8月8日(木)~9月13日(金)12:00まで
なお、一般公開企画のみのご聴講も事前の登録(無料)が必要です。大会webサイトからお申し込みください。

注意事項

◇ご登壇者の参加登録について

ご登壇者（ご招待者を除く）も参加登録が必要です。会期一週間前までに参加登録を済ませますようお願いいたします。なお、名誉会員および依頼講演者の皆様へは別途実行委員会よりご案内しますので、そちらに従ってお手続きをお願いします。

◇参加登録時の会員資格チェック（個人会員）について

個人会員の方は、参加登録に先立ち、本年度年会費の支払い状況を確認します。当該webページにアクセスいただくためには会員番号とパスワードが必要ですので、予めご準備ください。参加登録いただく時点で本年度年会費のお支払が確認できない場合は、個人会員資格でのお申し込みはできません。年会費をお支払いいただいたからweb上で確認できるまで二週間程度かかりますので、未払いの方は早めにお支払ください。

会員資格ならびに年会費支払い状況に関するお問い合わせは、本部大会運営委員会 (honbutaikai@scej.org) にお願ひします。

※本大会で登壇される方(名誉会員、招待者、共催学会の個人会員、対象海外学会の個人会員を除く)および参加(聴講のみを含む)する方で会員価格にて参加登録される方は、本会2024年度(2024年3月～2025年2月)年会費のお支払いが必要です。ご注意ください。

◇参加登録後のキャンセル(返金)について

一度ご入金されますと、理由の如何を問わず一切のキャンセルならびに返金はできません。予めご了解ください。なお、参加者の連絡先等の参加者情報(参加者名と参加登録資格(会員種別等)を除く)の変更は、随時参加登録webサイトより実施していただけますが、参加者名と参加登録資格の変更はできません。

◇講演要旨の事前公開について

参加登録を完了された方(参加費等支払済みの方)に、大会webサイトにて講演要旨を事前公開します。公開日に、講演要旨をご覧いただくためのID、PWを事前参加登録された際に登録いただいた電子メールアドレス宛にお送りします。本大会の講演要旨公開は、2024年8月28日(水)を予定しています。

◇講演要旨集について

講演要旨集はUSBメモリとして販売いたします(大会参加者に対する価格:3,300円/個)。大会参加費には含まれておりませんので、ご注意ください。参加登録時にお申込みいただければ郵送いたしますが、第三期に参加登録をされた方には、大会終了後の発送となります。

なお、講演要旨集のディスクイメージファイルは、講演要旨集USBメモリの購入有無にかかわらず本大会に参加登録された方皆さん(公開企画のみ参加者(無料)を除く)、大会終了から3か月後にWebからダウンロード(無料)いただけます。

大会に参加登録されず講演要旨集のみご購入を希望される場合は、本会会員は12,100円/個(税込・送料込)、本会非会員は23,100円/個(税込・送料込)で販売しています。お申込みは随時大会webより承りますが、現物の発送は大会終了後になります。

◇その他詳細について

大会webサイトをご確認ください。

参加費

大会参加費には、講演プログラム集冊子(別売;販売終了)や講演要旨集(USBメモリ;別売)は含まれていません。ご注意ください。

大会参加費

会員資格	大会参加費	
	第三期(8/8～当日)	備考
化学工学会個人会員の方		
正会員	15,000円	不課税
シニア会員	8,000円	
永年会員	7,000円	
教育会員	7,000円	
学生会員	7,000円	
ジュニア会員	7,000円	
海外正会員	15,000円	
海外連携会員	15,000円	
海外学生会員	7,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等		
法人会員(*1)に属する社員	18,000円	不課税
懇話会会員	18,000円	
部会個人賛助会員	18,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	18,000円	
(*1)維持会員, 特別会員, 特別地区会員		
他学会の個人会員の方等		
共催学会の個人会員	18,000円	課税税込
*2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	15,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	7,000円	
(*2)AIChE:米国化学工学会, CIESC:中国化学工学会, DECHEMA:ドイツ化学工学バイオ学会, IChE:インド化学工学会, KICHe:韓国化学工学会, TwIChE:台湾化学工程學會(略称アルファベット順)		
上記以外の方		
会員外	33,000円	課税税込

懇親会参加費

会員資格	懇親会	
	第三期(8/8～当日)	備考
化学工学会個人会員の方		
正会員	8,000円	課税税込
シニア会員	6,000円	
永年会員	6,000円	
教育会員	8,000円	
学生会員	6,000円	
ジュニア会員	6,000円	
海外正会員	8,000円	
海外連携会員	8,000円	
海外学生会員	6,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等		
法人会員(*1)に属する社員	8,000円	課税税込
懇話会会員	8,000円	
部会個人賛助会員	8,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	8,000円	
(*1)維持会員, 特別会員, 特別地区会員		
他学会の個人会員の方等		
共催学会の個人会員	8,000円	課税税込
*2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	8,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	6,000円	

(*2)AICHe:米国化学工学会, CIESC:中国化学工学会, DECHEMA:ドイツ化学工学バイオ学会, IICHe:インド化学工学会, KICHe:韓国化学工学会, TwICHe:台湾化学工程學會(略称アルファベット順)		
上記以外の方		
会員外	8,000円	課税税込

※当日、現地受付を行う場合は10,000円(税込)均一の特別価格となります。

講演要旨集(USBメモリ)

会員資格	講演要旨集(USBメモリ)		
	参加登録時同時購入	大会終了後別途購入	備考
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	3,300円/個	12,100円/個	税込 送料込
本会非会員		23,100円/個	

問合せ先

◇参加登録およびお支払方法に関するお問合せ
京王観光株式会社 東京第1支店
〒160-0022
東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階
化学工学会 運営サポートチーム
TEL: 03-5312-6540 FAX: 03-5379-0740
E-mail: scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp
営業時間 平日10時~17時

◇その他に関するお問合せ
化学工学会 第55回秋季大会 実行委員会
E-mail: inquiry-55f@www4.scej.org

部 会 C T

材料化学システム工学討論会

平素より大変お世話になっております。
材料化学システム工学討論会 2024年度主幹事の杉目です。

本年度の材料化学システム工学討論会は昨年度に引き続きオンライン開催を予定しております。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。また研究室の博士課程学生などへもご案内を何卒どうぞよろしくお願い致します。

本討論会は、化学工学の視点に基づいて材料の構造・物性からデバイスとしての機能に至るまでの全体をシステムとして捉え、最先端の研究が行われている新進気鋭の研究者にご講演を依頼し、材料・界面部会の若手研究者を中心として「徹底的に」討論することを趣旨としています。これを通して、未来の化学工学に対する期待や夢を熱く語り、若手研究者の相互啓発とビジョン形成、将来につながるネットワーク構築を行うことも目指しています。懇親会も予定しており、分野を超えた多くの若手研究者、博士課程学生、博士課程進学希望者との深い交流ができる会になればと考えております。

日時 2024年10月24日(木)13時~18時(終了後懇親会)、25日(金)9時~12時
会場 同志社大学東京オフィス

〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目7番19号 京橋イーストビル 3階

参加費 無料(懇親会別途5,000円程度を予定)

プログラム

~10月24日(木)~

13:00~13:05 開会・集合写真(初日)撮影
13:05~13:10 材料・界面部会長(岡山大学 小野努 教授)挨拶
13:10~14:40 【依頼講演】「構造類似性に注目したゼオライトの設計と合成」

東京大学(正)村岡 恒輝氏

14:45~16:15 【依頼講演】「自己組織化材料におけるナノ界面物性の解析手法の検討」

大阪大学(正)渡邊 望美氏

(休憩)

16:25~17:55 【依頼講演】「燃焼反応を利用した金属-酸化物界面の創製と固体触媒への応用」

金沢大学(正)藤原 翔氏

~10月25日(金)~

9:00~10:30 【依頼講演】「生物学的ナノ粒子の物理化学的性質に着目した疾患の理解と治療・診断への応用」

東京大学(正)中村 乃理子氏

10:35~11:15 【学生講演】「ソフト多孔性錯体が示すゲート型構造転移挙動の単一粒子レベル解析」

京都大学(学)有馬 誉氏

11:20~12:00 【学生講演】「ノイズの攪乱を整流するラチェット」

同志社大学(学)畑谷 実玖氏

12:00~12:10 集合写真(2日目)撮影, 総括・閉会の挨拶

参加申込締切 2024年10月18日(金)

申込方法

お名前,ご所属,連絡先(E-mail)をオンライン申込フォーム(<https://forms.gle/xu1DVdy7BwKxHmB86>)から記入しお申し込みください。申込フォームをご利用できない場合はE-mailにて下記連絡先までお申し込み下さい。なお,お申し込みにあたり,以下の事項に予めご同意ください。

同意事項

・録画録音等は一切禁止致します。

申込先 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

近畿大学 理工学部 応用化学科
杉目恒志

Email: sugime@apch.kindai.ac.jp

Tel: 06-4307-3464

地域 C T



東北支部

第68回プロセス設計技術講演会・見学会
兼 令和6年度 山形化学工学懇話会 技術講演会主催 化学工学会東北支部
共催 宮城化学工学懇話会, 山形化学工学懇話会

日時 2024年10月25日(金)13:10～

場所

【見学会】

浜理PFST株式会社 米沢工場 (山形県米沢市八幡原2丁目4300-18)

【講演会】

山形大学工学部 (山形県米沢市城南4丁目-3-16)
中示範C教室「管理棟南側2F (4号館2Fと直結)」(<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/campus/>)

【意見交換会】

未定

参加費

	参加費	意見交換会費(予定)
主催・共催団体	無料	6,000円
非会員	1,000円	6,000円
学生	無料	6,000円

申込締切 2024年10月11日(金)

●プログラム

○集合時間・場所

12:30(山形大工学部 発) 工学部正門集合

12:50(米沢駅 発) 米沢駅東口 集合

○見学会

13:10頃 浜理PFST(株)到着

13:20～13:25 プロセス設計技術講演会・見学会委員長挨拶

13:25～13:40 見学先代表・対応担当者による工場・事業等の説明

13:50～14:50 工場見学

15:00 出発

15:20頃 山形大学工学部 到着

○講演会 15:40～17:40

15:40～15:45 開会挨拶
(プロセス設計技術講演会・見学会委員長 青木 秀之氏(東北大学))

15:45～16:35

講演(1)「水溶液反応場を利用したセラミックプロセス」

鶴沼 英郎氏(山形大学大学院理工学研究科 化学・バイオ工学専攻)

16:40～17:30

講演(2)「アミノ酸とペプチドの製造技術について」
今野 博行氏(山形大学大学院理工学研究科 化学・バイオ工学専攻)

17:30～17:35 閉会挨拶

(山形化学工学懇話会会長 木保 光正氏(山形大学))

○意見交換会

18:00～19:30

申込方法 下記Google Formsへご入力いただくか、参加者のお名前、ご所属、連絡先(E-mail)、見学会・講演会・意見交換会の欠等をご記

入の上、E-mailもしくはFAXにて下記連絡先までお申し込み下さい。

参加申込Formアドレス

<https://forms.gle/UEVNHpfLcoAVdfA9>

問合せ・申込先 山形大学大学院理工学研究科 化学・バイオ工学専攻 小竹 直哉

E-mail: nkotake@yamagata-u.ac.jp

TEL: 0238-26-3163

FAX: 0238-26-3414



関西支部

セミナー「京都から次世代半導体の潮流を俯瞰する」

主催 化学工学会関西支部

協賛 近畿化学協会, 高分子学会関西支部, 日本化学会近畿支部, 日本機械学会関西支部, 分離技術会, 有機合成化学協会関西支部, 応用物理学会関西支部, 電子情報通信学会関西支部, エレクトロニクス実装学会関西支部, 化学工学会反応工学部会CVD反応分科会, CVD研究会, 京都大学工学研究科化学プロセス研究コンソーシアムナノ材料プロセス研究グループ<何れも予定>

日時 2024年10月18日(金)10:00～11:00(見学会), 12:15～17:20(講演会)

会場 京都リサーチパーク 4号館2階ルーム1 (京都市下京区中堂寺南町134,

<https://www.krp.co.jp/access/>)

<交通>JR嵯峨野線(山陰線)にて「丹波口」駅下車, 西へ徒歩5分。

プログラム

【見学会】(参加予定者)

9:45 ロームに向けて移動

10:00～11:00 ローム 企業ミュージアム「京都市右京区西院溝崎町21」見学

11:10～12:15 休憩(昼食は各自でご用意ください)

【講演会】

1. 【基調講演】半導体1兆ドル時代に向け、貢献する日本の材料業界(12:15～13:05)
(東理大院経営)若林 秀樹氏2. 【技術講演①】ローム研究開発が目指していること～「創る」×「作る」&「役立つ」～(13:05～13:50)
(ローム)中原 健氏3. パネルディスカッション(13:50～14:30)
テーマ(予定)「日はまた昇る 半導体復活への戦略を語る!」、パネラー(予定):(東理大院経営)若林 秀樹氏, (東大)霜 垣氏, (阪公大)笹子 勝氏, (阪公大院工)齊藤 丈靖氏, (レゾナック)姜 東哲氏, (東京エレクトロン)松本 貴士氏4. 【技術講演②】2.xDパッケージングにおける技術課題と企業連携プロジェクト「JOINT2」のご紹介(15:00～15:45)
(レゾナック)姜 東哲氏5. 【技術講演③】次世代半導体デバイスへ向けたグラフエン成膜装置開発(15:45～16:30)
(東京エレクトロン)松本 貴士氏6. 【特別講演】台湾の半導体産業エコシステムの構築及び日台協力戦略(16:30～17:20)
(ITRI産業科技国際戦略発展所)何 佳娟氏

7. 名刺交換会(17:20～18:00)

参加費 主催・協賛団体個人正会員:19,000円,

主催・協賛団体所属法人会員:23,000円, 大学・公設機関:7,000円, 会員外:37,000円, 学生会員:3,000円, 会員外学生:5,000円(何れもテキスト代・消費税込み)

申込締切 「見学会+講演会」9月30日(月), ただし定員(16名)になり次第締切, 「講演会」10月7日(月), ただし, 定員(60名)になり次第締切。

申込方法 Web上の参加申込フォーム「<https://www.kansai-scej.org/form/view.php?id=52855>」よりお申し込みください。参加費は、銀行振込[りそな銀行御堂筋支店 普通預金No.0405228 口座名義 公益社団法人化学工学会関西支部]をご利用ください。

・主催・協賛団体の他支部に所属の場合でも主催・協賛団体所属会員としてお取扱いします。

注意事項

- ・昼食が必要な方は各自でご用意ください。
- ・当日38℃以上の発熱のある方は参加をご遠慮下さい。
- ・配布資料は10月10日頃を目途に参加者へ入手方法を連絡します。

問合せ 公益社団法人化学工学会関西支部

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685

E-mail: apply@kansai-scej.org

ナノ材料の総合分析講習

主催 近畿化学協会触媒・表面部会

共催 化学工学会関西支部 等

日時 11月7日(木)～8日(金)

会場 大阪工業大学大宮校区(大阪市旭区大宮5-16-1)

【11月7日(木)】9:30～18:15

1. 表面分析概論 (大工大工)東本 慎也氏

2. 組成分析(AAS, ICP-AES, XRF)
(関大環境都市工)福 康二郎氏3. 光電子分光法(XPS, UPS)
(京大院工)富田 修氏

4. X線回折(XRD) (京大院工)中田 明伸氏

5. 電子スピン共鳴(ESR)
(阪公大院工)松岡 雅也氏6. 顕微鏡(TEM・SEM・STM・AFM)
(近大理工)田中 淳皓氏7. 昇温法(TG・DTA・TPD, TPR)
(阪大院工)森 浩亮氏

交流会

【11月8日(金)】9:30～17:40

8. X線吸収微細構造(XAFS)
(近大理工)朝倉 博行氏9. 紫外可視・光ルミネセンス(UV-vis, PL)
(京大院工)浪花 晋平氏

10. 核磁気共鳴(NMR) (阪大院基礎工)山口 渉氏

11. 赤外・ラマンスペクトル(FT-IR, Raman)
(阪公大院工)竹内 雅人氏12. 質量分析・クロマトグラフ(MS・GC・LC)
(京大院工)井口 翔之氏

13. 吸着法 (近大理工)室山 広樹氏

14. 電気化学測定 (京大)東 正信氏

15. 総論・ケーススタディー
(京大院人環)吉田 寿雄氏
閉会挨拶 (大工大工)東本 慎也氏
参加申込締切 10月16日(水)

定員 80名
参加費 共催団体会員33,000円、近畿化学協会触媒・表面部会法人会員28,000円、一般43,000円、学生11,000円(消費税込)
申込方法 HP (<https://kinka.or.jp/form/view.php?id=28120>) からお申込みのうえ、参加費を銀行振込(三井住友銀行備後町支店・普通預金No.1329441一般社団法人近畿化学協会)にて送金してください。振込手数料は参加者でご負担願います。
申込先 近畿化学協会触媒・表面部会
 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
 TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685
 E-mail: catal@kinka.or.jp

ジシにくい部分を実際に観察・測定し、データ解析や現象の解釈を通じて講義内容の理解を深めます。

日時 9月24日(火)～9月26日(木)
 *3日間の科目は日単位で選択できますが、2日間以上の受講とします。
会場 広島大学工学部117講義室/B4-002 化学工学実験室
 〒739-8527 広島市鏡山1-4-1,
 TEL 082-424-7718

<交通>・JR西条駅から「広島大学」行き路線バス、大学会館前下車・山陽新幹線東広島駅から：タクシー利用(約15分)、「広島大学」行き路線バス、大学会館前下車

工学部117講義室)
 9:30～12:00 反応操作 中井 智司氏(広島大学)
 12:50～15:20 蒸留操作 宇敷 育男氏(広島大学)
 15:30～18:00 腐食・防食 矢吹 彰広氏(広島大学)

第三日目 実習編 9月26日(木) 9:30～16:30 (工学部B4-002 化学工学実験室)
 A. 連続精留 末永 俊和氏(広島大学)
 B. 定圧ろ過 福井 国博氏(広島大学)
 C. 流速分布と流量及び摩擦損失 久保 優氏(広島大学)
 D. 伝熱係数 萩 崇氏(広島大学)

中国支部

2024年度 基礎化学工学講習会 会告

主催 中国地区化学工学懇話会
 協賛 広島大学フェニックス協力会

対象 大学・高専・高校などで化学工学を専攻していない方が主な対象です。大学2年生程度を想定した講習会テキストを用い、化学工学の基本となる項目について、理論も交えながら詳説する丁寧な講義と内容の理解を助ける演習問題に取り組むことにより、化学工学の基礎知識を修得することを目的とします。本年度は2日間にわたる講義の他に、講義内容のエッセンスを取り入れた実験実習を1日開講いたします。実習では、座学ではイメー



講義内容
第一日目 基礎編 9月24日(火)9:30～18:00(工学部117講義室)
 9:30～12:00 化学工学量論 矢吹 彰広氏(広島大学)
 12:50～15:20 伝熱論 萩 崇氏(広島大学)
 15:30～18:00 流動論 木原 伸一氏(広島大学)
第二日目 応用編 9月25日(水)9:30～18:00(工

参加費(消費税、テキスト・補助資料代を含む)

1社当りの参加者	2名まで (1名当り)	3名以上 (1名当り)
会員(企業)	25,000円	20,000円
会員外(企業)	40,000円	
大学・官公庁	15,000円	

*実習では課題により、人数調整させて頂く場合があります。

定員 24名(実習が伴うため、例年よりも少ない定員です)

申込締切 8月23日(金)
申込方法 下記Formsにてお申込下さい。参加費は銀行振込(広島銀行大手町支店普通預金0431443 中国地区化学工学懇話会)にてお支払い下さい。申込締切日以降に、参加証とテキストを送付いたします。

申込先 <https://forms.office.com/r/DDhJLSyuQh>
問い合わせ先 中国地区化学工学懇話会・事務局 広島大学・宇敷 育男 (Email: iushiki@hiroshima-u.ac.jp)
掲載HP <https://konwakai.hiroshima-u.ac.jp/>